

北海道福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人シーズネット

②運営者(指定管理者)に係る情報

名称：社会福祉法人 後志報恩会

代表者氏名：理事長 阪口 光男

所在地：〒047-0156 北海道小樽市桜4丁目6-2

TEL 0134-51-5217

③事業所の基本調査内容

別紙「基本調査票」のとおり

④総評

◇特に評価の高い点

1. 小規模事業所として落ち着いた雰囲気である

当事業所は振興山村地域にある小規模のデイサービスであり、周りを里山と田園に囲まれた穏やかな環境にある。事業所内は利用者数もさほど多くなく静かで落ち着いた雰囲気が特徴で、ホールやトイレなど一つひとつが広く、利用者の居場所も様々に用意されて、ゆったりして過ごせる環境になっている。職員も利用者の動きに合わせ、時間に追われ焦ることなくサービスを提供することができている。

2. 地域の貴重な社会資源となっている

法人の発祥の地である銀山地区の住民の介護サービスの拠点として、このデイサービスを開設したという経緯があり、地域に頼られる事業所となるよう心掛けている。管理者が町内会の役員でもあり、町内会との付き合いは開設当初から親密な関係を保っている。運営推進会議には、利用者代表、家族代表、民生委員、役場担当者、地域包括支援センター、銀山学園のボランティア代表など地域の高齢者福祉に関わる人が参加し、地域の課題を検討している。一人暮らしの利用者のために行事の一環として買い物に行くとか、郵便物を出すなどの支援もしている。また泊原発から15kmという立地であり、事業所を含む施設自体が放射線防護の施設に指定され、放射能事故があっても200人が3日間暮らせる備品を全部備えている。そのため、空気浄化装置もある。

3. 職員が働きやすい環境となっている

配置基準を上回る職員数を確保し、清掃等は隣接する就労支援事業所が担うので、利用者と接する時間が十分に確保できている。全員が介護福祉士であり、一定のレベルの介護がなされている。職員が少人数のため、管理者を含む職員同士のコミュニケーションも図られている。研修機会も多く、また超過勤務は全くなく、総じて働きやすい職場となっている。

◇改善を求められる点

1. 自己評価の実施を期待したい

実地指導様式の自己評価は実施しているが、事業所としての独自の自己評価や職員個々の自己評価様式は整備されていない。また、都度、職員会議でサービス内容を見直しているが、系統だった評価とはなっていない。小所帯であるがゆえに日々の話し合いの中で改善できているということもあるだろうが、文書化による客観的な見地も必要である。そのためまずは自己評価様式を作成し、定期的に自己評価に取り組まれることが望まれる。その上で、自己評価にもとづいた改善課題を文書化して整理するという作業を期待したい。今回、初めて第三者評価の受審に取り組んだことは評価できる。

2. 介護予防の取組の強化を期待したい

当事業所は要介護1～3の利用者が多く(平均要介護度1.64)平均年齢は80代後半であることから今後要介護度が重くなることが予測されるが、関わり方によってはADLなどのレベルを保つことができる。機能訓練は集団体操が主で、個別機能訓練や口腔ケアに積極的に取り組んでいるとは言いがたいので、今後、介護予防の視点から、機能訓練や口腔ケアの取組の強化が望まれる。また、町の生きがい活動支援通所事業(主に自立と認定された方)の利用者もあり、フレイル予防の取組も望まれる。具体的には、地域リハビリテーション活動支援事業(後志地域リハビリテーション広域支援センター)を活用して、個別身体機能評価を定期的実施する仕組みづくりや、地域の歯科医と協力して歯科衛生士の個別口腔ケア評価を定期的実施する仕組みづくりなど期待したい。

3. 広報活動の充実を期待したい

法人のホームページに事業所の活動内容が紹介されているが、「どんな事業所なのか」、「日中の過ごし方や、アクティビティ、行事などにはどのような内容があるのか」などが具体的に把握できる内容とは言いがたい。また、事業所が発行している「えんれいそうだより」も4半期ごとの発行にとどまっている。利用者増に取り組んでいるところなので、ホームページの充実はもとより、広報紙の刊行間隔を短くしたり、個人情報に配慮したSNSの活用などで情報公開の充実を目指し、利用希望者への情報提供などがより充実されることを期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

客観的な評価が知りたいと思ひまして、今回第三者評価をうけることにしました。小規模であるという利点で、職員間のコミュニケーションがとりやすいため、都度話し合いで解決できる半面、書面に落とすようなことをあまりしてきていなかったもので、そのあたりは今後取り組んでいきたいと考えています。また、介護予防の点でも、こうすればうちのような小さな事業所でも取り組めるという視点を教授いただきましたので、こちらも多職種と連携しながら実施していきたいと考えています。広報活動に関しては、法人を含め弱い部分であるため、積極的に改善をしていきたいと考えております。今回は、認定NPO法人シーズネットの皆様にご協力いただき、貴重なご意見をいただきましたことに、この場を借りて御礼申し上げます。

⑥評価対象項目に対する評価結果及びコメント

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり